

市町村名		石垣市					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧		花満開いしがきじま事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
	担当部署名	建設部 都市建設課 建設部 施設管理課		事業実施(予定)年度	平成29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備
事業内容		石垣市の観光地としての新たな魅力の創出を図るため、都市公園などの公共空間において、さくら等の植樹を行う。					Ⅲ-1-(1)
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R1年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a)当初予算額	13,568	-			
	(b)予算現額	33,568	-				
	(c)増減額(b-a)	20,000	-				
	(d)繰越額	-	19,806				
	A.計(b+d)	33,568	19,806				
	B.執行済額	13,762	19,234				
	うち交付金充当額	11,009	15,387				
	次年度繰越額	19,806	-				
	執行率(%) (B/A)	41.0%	97.1%				
予算の状況の説明		当初は、公園等への植樹を計画していたが、クルーズ船客寄港増による観光客の増加により、周遊する観光中心地においても、景観の創出を図る必要が生じたため、工事請負費20,000千円を増額補正した。その後、調査設計による配植の検討において、課題抽出、関係機関及び周辺地区の商業施設との計画の調整等に不測の日数を要したため、19,806千円を繰越した。繰越後は、事業計画どおり執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	さくらの植樹の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
観光中心地(730交差点付近)の樹木整備	目標	(樹木整備)	()	()	()		
	実績	樹木整備					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・さくら植樹の完了(41本) ・730交差点ポケットパークの樹木整備、及び石垣港離島ターミナル向けの道路植栽の整備(約170m) 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R1年度)
	さくら植樹の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	観光中心地(730交差点付近)の樹木整備の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
【R1成果目標】 魅力が創出されたか(80%以上)を含め、アンケートで検証する	目標	()	()	()	()	(80%)	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・天候にも恵まれ、目標本数のさくら植樹(41本)を年度内に完了する事が出来た。 ・730交差点ポケットパークの樹木整備について、緑の募金の期間にアンケートを実施、おおむね新たな魅力が創出されたとの回答を得た。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・植樹については、関係機関及び地域の商業施設等との調整を円滑に進める必要があった。 ・平成29年度(線越)の観光中心地(730交差点付近)の樹木整備については、観光客が通行する場所であり、受託者に事故を起こさないよう徹底した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらの植樹については、11月～3月の実施が適時であることから、早期から関係機関及び商業施設等との調整に取り組み、円滑な事業実施に繋げる必要がある。 ・事業実施にあたっては、より多くの市民へ周知を図りながら、進めていく必要がある。

今後の取り組み方針

・今後、同種の事業を実施する際は、本事業での改善内容等を反映し、より円滑な事業実施に取り組むこととする。また、植樹したさくらの開花にむけて樹木の育成経過の観察を行うこととする。

・管理については周辺地域住民の協力を得るとともに、石垣港離島ターミナル向かいにある公園周辺についても今後整備を行い、観光地としての新たな魅力の創出に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



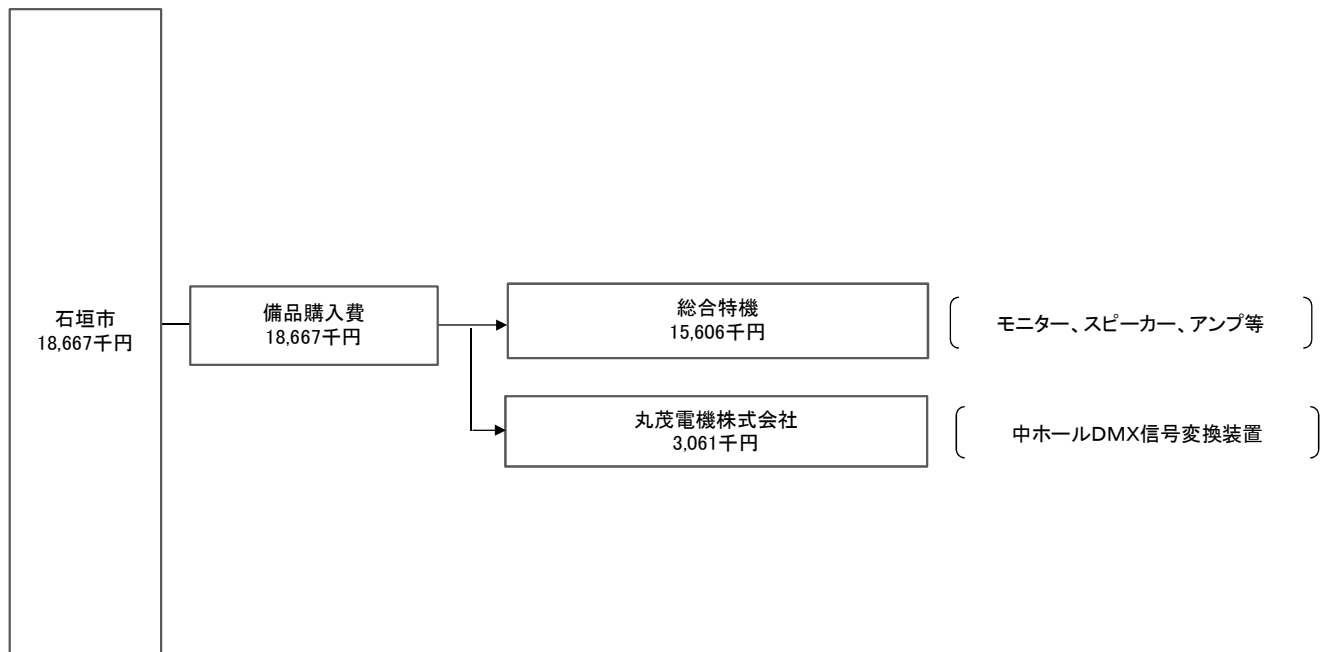
資金の流れ、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託・工事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○企業実績によりRCCM(造園または森林土木)に資格を有し、過去に類似した業務実績のある業者の植栽調査設計より予定価格を設定しており、予算規模は妥当と考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については完了段階で完了検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市						
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-10	石垣市民会館設備機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ		
担当部署名	企画部 観光文化課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化活動を支える基盤の形成		
事業内容	市民が質の高い文化芸術公演に触れる機会の確保を図るため、石垣市民会館大ホール舞台機構の機能強化を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 ('交付金'+市町村負担)ベース		H27年度	H27年度(繰越)	H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	
	予算の状況	(a)当初予算額	182,329	-	20,291	18,826	-
		(b)予算現額	205,976	-	20,291	18,826	-
		(c)増減額(b-a)	23,647	-	0	0	-
		(d)繰越額	-	40,738	-	-	3,220
		A.計(b+d)	205,976	40,738	20,291	18,826	3,220
	B.執行済額		165,238	22,437	7,560	15,606	3,061
	うち交付金充当額		132,191	17,949	6,048	12,484	2,449
	次年度繰越額		40,738	-	0	3,220	-
	執行率(%) (B/A)		80.2%	55.1%	37.3%	82.9%	95.1%
予算の状況の説明		照明設備の整備について、受注業者による装置の生産に不測の日数を要し、納期延長となったため、備品購入費3,220千円をH30年度に繰越した。繰越後は、H30年4月末に事業完了することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	石垣市民会館音響設備及び照明設備の機能強化	目標	(機能強化)	()	()	()	
		実績	機能強化実施				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	・石垣市民会館音響設備及び照明設備の機能強化のため、音響設備(モニター、スピーカー、アンプ等)と照明設備(中ホールDMX信号変換装置)を購入した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R4年度)
	石垣市民会館音響設備及び照明設備の機能強化完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【R4成果目標】 島外のイベント会社等が主催する公演数:5件		目標	()	()	()	(5件)
	進捗状況説明	・H29事業においては、音響設備及び照明設備(中ホールDMX信号変換装置)の強化に取り組んだ。当施設の機能強化全体については整備途中であり、引き続き、質の高い文化芸術公演に触れる機会の確保に向けて、年次的な設備機能強化を計画的に実施していく必要がある。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・音響設備機能強化として、モニタースピーカー等の備品購入を短期間で行うことができた。照明設備購入に関しては、受注生産であるため、納品時期に遅れが生じることとなった。</p>	<p>・機器メーカー製品の更新状況、単価等、関連情報の迅速な入手及び調整が重要である。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・引き続き計画的な設備機能強化を行い、演者や市民をはじめとする観客に安心・安全に利用いただく環境を整備していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
18,667	18,667	14,933	3,734	0



資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○音響設備備品購入の業者選定は競争競争入札により実施しており妥当であったと考えている。照明設備備品購入については、既存設備との互換性から既存メーカーのみ受託可能であるため、随意契約となった。</p> <p>○予算規模は執行状況からも適正規模と考えられる。</p> <p>○費目・用途については、適正と考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	旧空港跡地環境影響評価事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	建設部 都市建設課	事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	旧石垣空港跡地への土地区画整理事業導入にあたり、都市計画決定の要件である沖縄県環境影響評価条例に基づく環境影響評価を実施し、円滑な都市計画決定、事業認可につなげ、跡地の早期利用を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H28年度(繰越)	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	
		(a)当初予算額	10,000	-	50,000	-	
	(b)予算現額	3,014	-	32,932	-		
	(c)増減額(b-a)	▲6,986	-	▲17,068	-		
	(d)繰越額	-	3,014	-	32,932		
	A.計(b+d)	3,014	-	32,932	-		
	B.執行済額	0	3,013	0	32,932		
	うち交付金充当額	0	2,410	0	26,345		
	次年度繰越額	3,014	-	32,932	-		
	執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%		
予算の状況の説明	予算減額は入札残によるものである。繰越事由は、H28年度業務が関係機関との協議・調整に不測の日数を要し繰越となり、H29年度業務においても事業スケジュールの変更等が生じたためである。減額及び繰越となったものの、繰越後は、計画どおり執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
	○方法書手続、現地調査 ・方法書作成 ・住民説明会、公告・縦覧 ・住民、沖縄県、関係機関の意見聴取 ・県との調整 ・公表 ・現況調査	目標	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		実績	方法書手続、現地調査の実施				
達成状況説明	沖縄県環境影響評価条例に基づき、下記のとおり、環境影響評価方法書作成業務を完了した。 ・方法書の作成(H30年3月) ・住民説明会、公告縦覧(H30年4月) ・住民、沖縄県、関係機関の意見聴取、調整(H30年7月) ・公表(H30年4月) ・現地調査(秋・冬)(H31年3月)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R3年度)
	方法書手続の完了、現況調査(秋季、冬季)の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【R3成果目標】 旧空港跡地約50haの有効活用	目標	()	()	()	()	(約50ha)
進捗状況説明		沖縄県環境影響評価条例に基づき作成した環境影響評価方法書に関し、住民説明会や公告・縦覧などを行い手続きが完了した。また、方法書の手続きに従い、現地調査(秋・冬)を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・方法書を作成し、現地調査(秋・冬)を実施。抽出されたデータを踏まえ、土地区画整理事業導入にあたり実施している他事業との連携・協議を十分に行い、円滑な旧空港跡地利用の促進を図る必要がある。</p>	<p>・旧石垣空港跡地利用連絡協議会等を活用し、関係機関との協議・連携を密に行う。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・本事業において、今後の取り組みとしては、現地調査(春・夏)、予測評価、準備書、評価書手続きを実施し、旧空港跡地土地区画整理事業導入につなげ、旧空港跡地利用を円滑に行う。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	32,932	32,932	26,345	6,587	0
<pre> graph LR A[石垣市 32,932千円] --> B[委託料 32,932千円] B --> C[株式会社パスコ 32,932千円] subgraph D [] C end style D stroke-dasharray: 5 5 </pre>					

資金の 使途の 流れ 点検 ・ 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算の残額については、競争の結果によるものであることから、予算規模については、適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については、額の確定時において確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

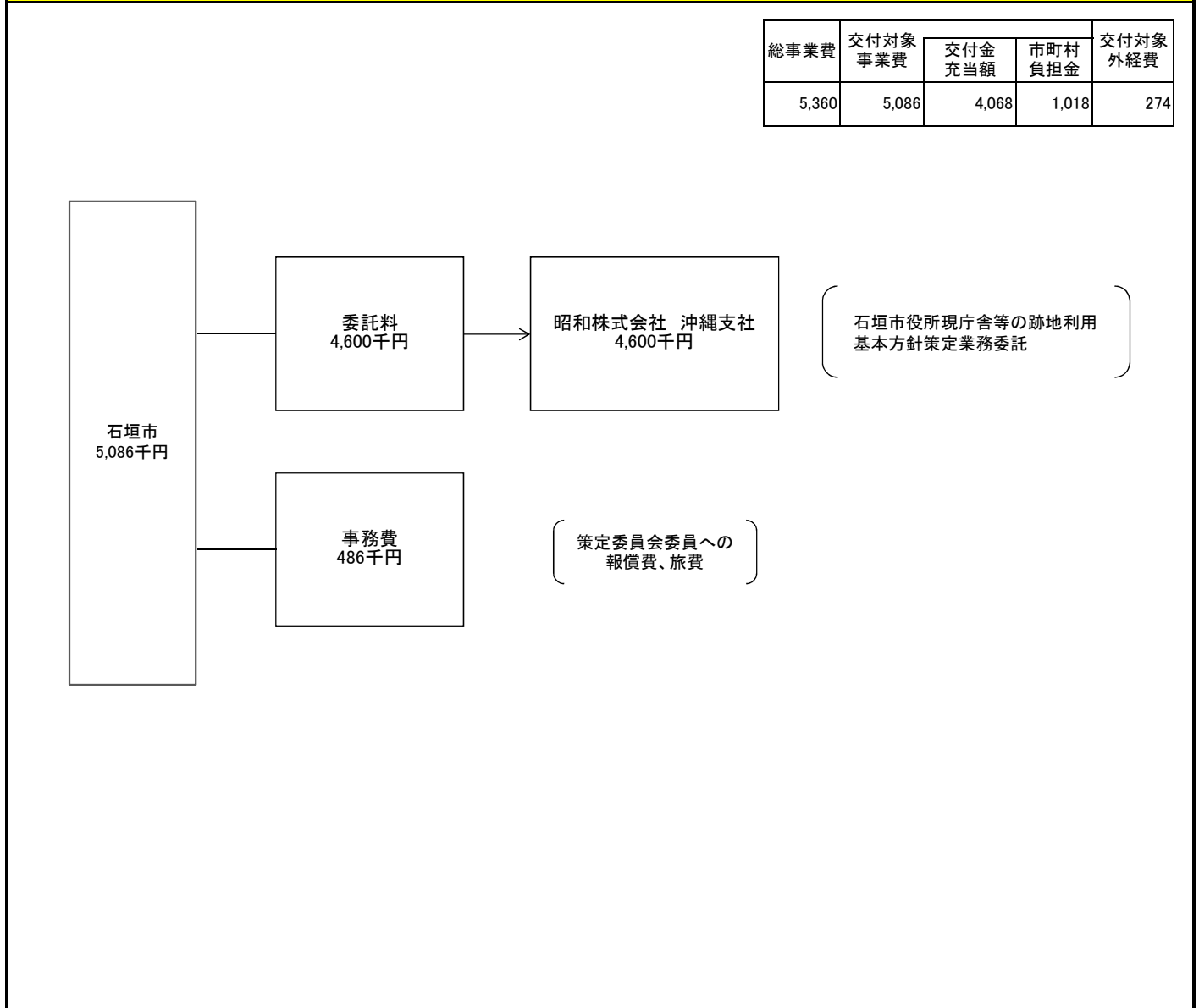
市町村名		石垣市					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④		現庁舎跡地利用計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-エ	
	担当部署名	企画部 企画政策課		事業実施(予定)年度	平成29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	過疎・辺地地域の振興 Ⅲ-1-(1)
事業内容	本市庁舎の移転に伴う中心市街地の活性化及び新たなにぎわいの創出を目的とし、市民の利用促進、来訪者の回遊を創出する拠点づくりにつなげるため、移転後の庁舎跡地等の利活用についての基本構想及び基本計画を策定する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,087	—			
		(b) 予算現額	5,087	—			
		(c) 増減額(b-a)	0	—			
		(d) 繰越額	—	5,087			
	A. 計(b+d)		5,087	5,087			
	B. 執行済額		0	5,086			
	うち交付金充当額		0	4,068			
	次年度繰越額		5,087	—			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%			
予算の状況の説明		本事業については、第4次石垣市総合計画後期基本計画との整合を図る必要があるが、本市の観光客の大幅な増加、地域創生事業の導入等により、当該計画の見直し及び策定を待って事業着手する必要が生じたことから、事業期間を変更したため、委託料等にかかる5,087千円を平成30年度に繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	基本構想策定	目標	(策定)	()	()	()	
		実績	策定				
	基本計画策定	目標	(策定)	()	()	()	
		実績	未策定				
達成状況説明	基本構想の策定については、現庁舎等跡地の利活用の方向性を定めるため、次の取り組みを経て、平成30年12月に「石垣市役所現庁舎等跡地利用基本方針」を策定した。 ・石垣市役所現庁舎等跡地利用基本方針策定委員会による検討 ・パブリックコメントの実施 基本計画の策定については、現庁舎等跡地の利活用の基本的な方針等を定めたくうえで導入機能及び施設整備等を検討する必要があるため、令和元年度において検討を行うこととした。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	基本構想策定完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	基本計画策定完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		未完了			
	進捗状況説明	今回、策定した基本方針においては、下記の事項について整理を行った。 1 跡地を取り巻く環境 2 跡地利用に向けた課題 3 跡地利用の方向性 4 実現に向けての課題 今後は、同基本方針を受けて、跡地活用事業における民間活力導入検討業務に取り組む。この中で基本計画等の策定について検討を行う。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 中心地の新たなにぎわいの創出に資する跡地利用の実現に向けて、周辺施設や地域との連携を図る必要がある。 現庁舎等跡地については、広く市民の財産であることから、その利活用にあたっては地域の合意形成が必要である。 社会経済情勢など取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、中心地の継続した発展を図る必要がある。 跡地利用における民間活力の導入において、導入機能や施設整備においては、市民、地域の意向を最大限反映する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 本市の総合計画および現庁舎移転後における周辺地の再開発構想ならびに上位まちづくり計画等との整合を図りながら、当該地一帯のまちの将来像を明確にした上で、周辺施設等との連携・役割分担等を考慮した施設整備を検討する。 合意形成を進めるため、検討段階から地域の参画を図ることで、地域の主体的な取り組みが期待できる。 観光情勢をはじめとする経済情勢、将来の人口ビジョンならびに市民、来訪者ニーズを把握、分析する。 事業協力者となる民間事業者との対話を通じ、市場性の有無、実現可能性の把握等に取り組み、適切な事業手法の検討を行う。

今後の取り組み方針

- 市民と来訪者の双方が利用可能な施設とすることを基本として、民間活力の活用による整備を行っていく。
- 民間活力の活用については、その手法が様々であることから、民間活力導入可能性調査等により最適な事業者選定を行っていく。
- 施設整備においては、市民・地域の意向を最大限に反映する必要があるため、民間事業者と連携し、意向の収集、整理を行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ 点 検 ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者の選定及び予算規模については、指名競争入札にて決定していることから適正と考える。 ○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤	美ら星ゲート構築事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ウ		
担当部署名	企画部 観光文化課	事業実施(予定)年度	平成28~29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化コンテンツ産業の振興		
事業内容	市街地において、「星の島」としての石垣島の魅力を発信し、観光誘客を図るため、プラネタリウム(多目的ドームシアター)の設置に係る実施設計、コンテンツ制作及び建築工事を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R1年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,720	61,214	-		
		(b) 予算現額	7,720	363,960	-		
		(c) 増減額(b-a)	0	302,746	-		
		(d) 繰越額	-	-	302,780		
	A. 計(b+d)		7,720	363,960	302,780		
	B. 執行済額		7,145	59,983	301,277		
	うち交付金充当額		5,716	47,986	241,022		
	次年度繰越額		0	302,780	-		
	執行率(%) (B/A)		92.6%	16.5%	99.5%		
予算の状況の説明		平成29年度は、当初、設計委託料として61,214千円を計上していたところ、プラネタリウムの建設に係る取り組みを当該年度において実施することとしたことから、工事請負費302,746千円を増額補正し、総事業費363,960千円となった。繰越については、映像コンテンツの制作等について、天候等の影響により撮影や取材に不測の日数を要し、年度内の工事完了に至らなかったことから302,780千円を次年度に繰越した。平成29年度における不用額は、委託料及び工事請負費の入札残1,197千円となる。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	プラネタリウム建築に係る実施設計の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
プラネタリウム建築工事の実施	目標	(実施)	()	()	()		
	実績	実施					
達成状況説明	実施設計、コンテンツ制作及び建築工事を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R1年度)
	プラネタリウム建築に係る実施設計の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	プラネタリウム建築工事の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
【R1成果目標】 供用開始後1年目(平成30年度予定)の目標を以下のとおりとする。 年間入場者数45,000人	目標	()	()	()	()	(45,000人)	
進捗状況説明	次の事業を実施し、市街地の石垣港離島ターミナル内にプラネタリウム施設を設置することができた。 ・建築に係る実施設計 ・映像コンテンツの制作 ・プラネタリウムの建築工事						

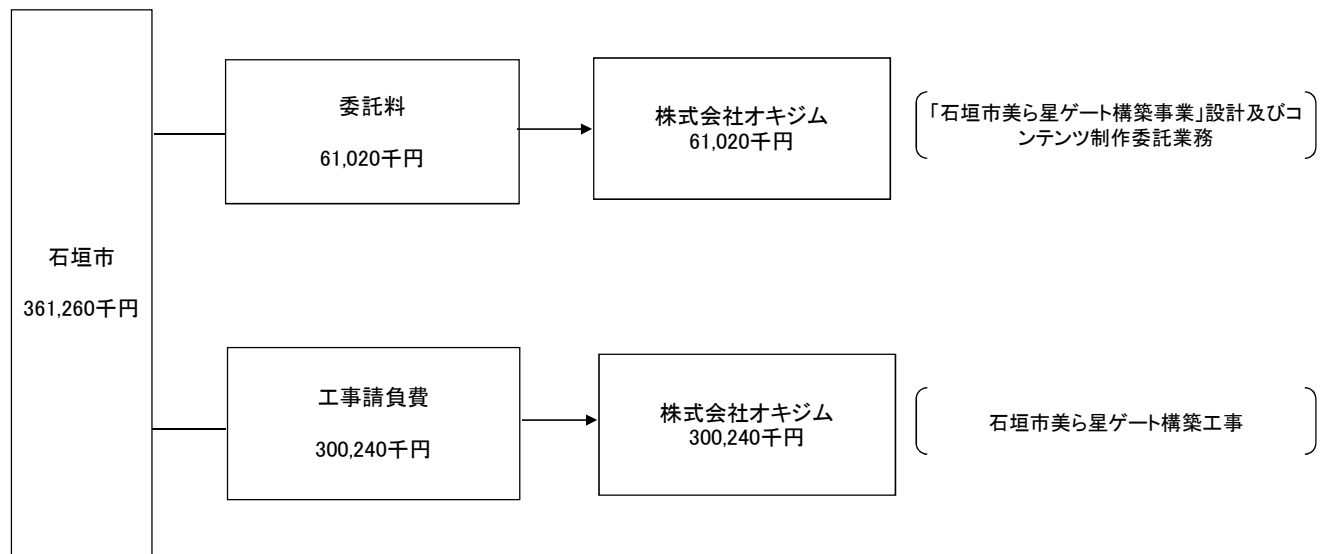
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 施設及び映像コンテンツが完成したことから、設置条例等の制定等手続を行い、供用開始に向け取り組む必要がある。 運営面において、安定した運営に資するよう取り組む必要がある。 施設の供用開始後は、誘客に向けて取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 入館料の最適化を検討し、誘客に繋げる。 運営管理事業者との連携を図り、効率、効果的な施設運用を検討する。 多目的ドームシアターとして、多彩なイベントの開催により、施設の有効活用を検討し、雨天、荒天時の観光客受入れ、施設のPRIにより、誘客を図り、安定した入館者数の確保に繋げる。

今後の取り組み方針

- 当施設の設置目的等から適切な入館料設定を検討し、環境整備に取り組む。
- 定期的な映像コンテンツの更新しや施設情報の発信に取り組む、入館者増へ繋げる。
- 石垣、八重山諸島に残る星にまつわる民話や唄など生活に根ざした星文化を紹介し、星空資源の活用と保全を考える機会の創出に取り組むとともに、石垣、八重山の風景、自然、文化、歴史、伝統芸能等を紹介する多彩なイベントを開催する。また、雨天・荒天時の観光客の受入れについて、旅行代理店等関係者への働きかけを行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
361,260	361,260	289,008	72,252	0



資金の流点れ、費用・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は、公募型プロポーザル方式又は一般競争入札により実施しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の0.7%であり、適正な規模であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥ 観光施設及びキャンプ場誘客整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-エ		
	担当部署名	建設部 施設管理課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	観光客受入体制の整備		
				沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光施設利用者の利便性を確保するため、玉取崎展望台及び平久保崎灯台駐車場の整備、改修を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	28年度(繰越)	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	
		(a)当初予算額	30,000	-	1,897	-	
	(b)予算現額	67,040	-	4,643	-		
	(c)増減額(b-a)	37,040	-	2,746	-		
	(d)繰越額	-	45,340	-	3,025		
	A.計(b+d)	67,040	45,340	4,643	3,025		
	B.執行済額	21,702	43,360	1,618	2,916		
	うち交付金充当額	17,360	34,689	1,294	2,333		
	次年度繰越額	45,340	-	3,025	-		
	執行率(%) (B/A)	32.4%	95.6%	34.8%	96.4%		
予算の状況の説明	平成29年度における増減額2,746千円は、平久保崎灯台に向かう誘導路の整備を追加し基本設計に取り組みることとなったため、3,024千円を増額補正し、入札執行残278千円を減額補正したことによるものである。 繰越については、用地測量に際し関係地権者等との調整等が必要となり、計画期間の見直しが必要となったことによるものである。繰越後は、繰越予算内で計画どおり事業を実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	玉取崎展望台利便施設設計業務の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
平久保崎灯台駐車場に係る基本設計業務の実施	目標	(実施)	()	()	()		
	実績	実施					
達成状況説明	・玉取崎展望台の利便施設の実施設計を行った。 ・平久保灯台線の用地測量の実施に際し、関係地権者等との調整等が必要となり、計画期間を見直し、事業の繰越を行った。繰越後、平久保灯台線の概略設計を行い、駐車場位置の選定作業を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R4年度)
	玉取崎展望台利便施設設計業務の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	平久保崎灯台駐車場に係る基本設計業務の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
実績			完了				
進捗状況説明	・玉取崎展望台を利用する観光客の混雑解消向け便所増設及び既設便所改修工事の実施設計完了した。また、観光地となっている平久保灯台の駐車場不足解消するため、平久保灯台線概略設計を行い位置選定も含め実施設計を行った。 ・各設計業務の完了により、便益施設および駐車場に係る所要内容の把握ができ、H30年度以降予定の各工事への着工に繋げることができた。						

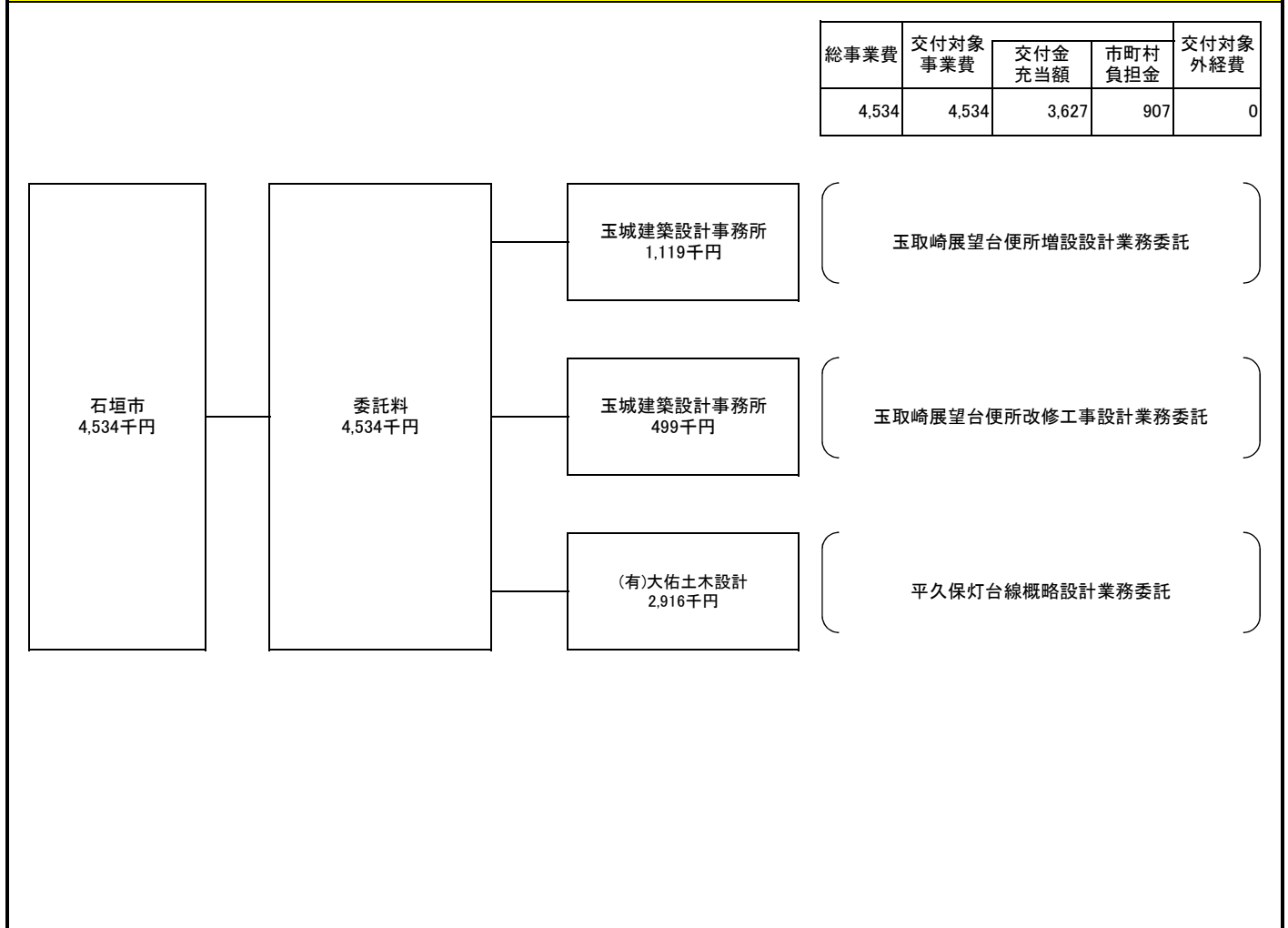
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 玉取崎展望台は国立公園となっているため、便所建設工事の建築確認の許可申請に際し、環境省と速やかに協議する必要がある。 平久保灯台駐車場予定地は民地となっているため用地交渉が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 玉取崎展望台便所建設工事について、意匠決定、構造計算及び工事費算出後、速やかに環境省との協議を行う。 用地購入費用を抑えるため、必要最小限の用地取得に努める。

今後の取り組み方針

・玉取崎展望台利便施設の整備について、引き続き、環境省との連携、調整を図りながら景観への対応に取り組んでいく。併せて展望台のバリアフリー化のため園路整備を行い、展望台利用者の満足度向上に繋げていくこととする。

・平久保灯台駐車場整備にかかる用地取得については、駐車場整備の実施設計と並行して必要最小限の用地取得を検討し、速やかな事業実施に取り組んでいくこととする。

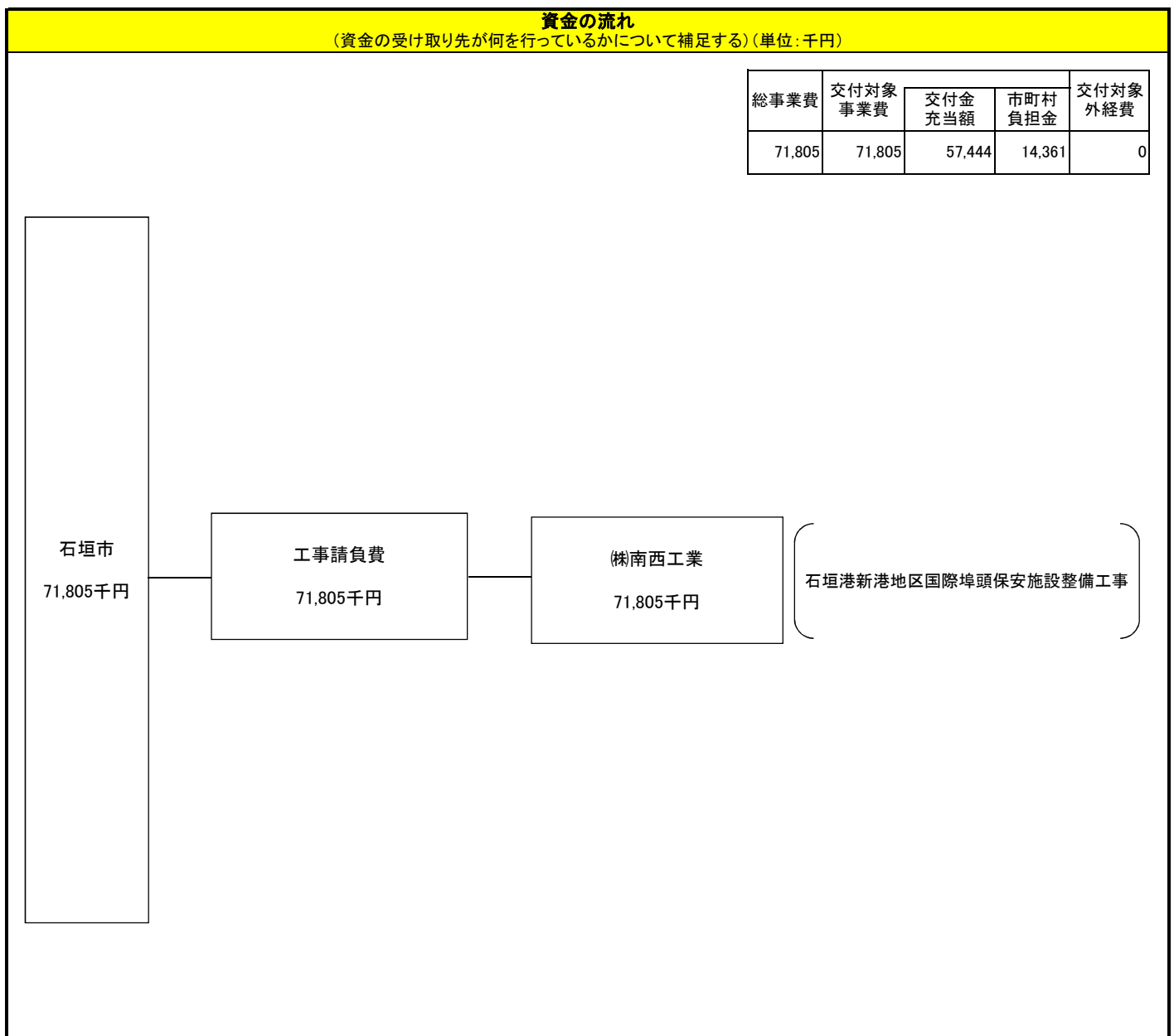
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○便所増設設計業務及び平久保灯台線概略設計の委託業者の選定は、指名競争入札を実施し妥当である。また、既設便所の改修設計業務についても近接工事のため落札者に随意契約を行ったことについても現場条件の熟知度からも妥当だと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について、事業内容に見合った規模となっており適正である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については、額の確定時において確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑦	新港地区国際埠頭整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ		
担当部署名	建設部 港湾課	事業実施(予定)年度	平成28~29年度		人流・物流を支える港湾の整備		
事業内容	石垣港新港地区に新たに建設する大型クルーズ船バースの共用に際し、外航クルーズ船寄港に対応するための施設整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(H30年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	28年度(繰越)	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	
		(a)当初予算額	20,000	-	100,391	-	
		(b)予算現額	18,090	-	95,478	-	
		(c)増減額(b-a)	▲1,910	-	▲4,913	-	
		(d)繰越額	-	18,090	-	23,673	
		A.計(b+d)	18,090	18,090	95,478	23,673	
		B.執行済額	0	18,090	71,805	0	
		うち交付金充当額	0	14,472	57,444	0	
		次年度繰越額	18,090	-	23,673	-	
		執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%	75.2%	0.0%	
予算の状況の説明		平成29年度における減額は、工事の入札残によるものである。 繰越については、事業実施箇所に隣接する国直轄事業の埋立工事の工期遅れにより、本事業の工事が一部のみの実施となったため、残部分の工事を平成30年度に繰越した。不用についても国直轄事業の工期遅れの影響により生じたものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	SOLAS施設整備工事の発注及び施工の実施	目標	(発注及び施工)	()	()	()	
		実績	発注及び施工				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	・石垣港新港地区国際埠頭保安施設整備の発注及び施工を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	SOLAS施設整備工事の施工完了	目標	()	(施工完了)	()	()	()
		実績		一部施工完了			
	【H30成果目標】 新バースへの外航クルーズ船寄航回数: 108回	目標	()	()	(108回)	()	()
		実績			107回		
進捗状況説明	・国直轄事業の埋立工事が完了している当該バース部分共用開始箇所において、保安施設整備工事の施工を行った。なお、実績を「一部施行完了」としている理由は、国直轄事業の埋立工事が当初予定の一部分しか完了していないために、本市が行うSOLAS工事も一部分しか実施できないことによるものである。 ・新バースへの外航クルーズ船寄航回数108回の目標に対して、107回の実績となった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・外航クルーズを取り巻く環境は日に日に変化しており、乗客のニーズや交通機関からの要望等を踏まえて、条約の範囲内で施設を整備する必要がある。 ・クルーズ船寄港については、気象条件により寄港がキャンセルとなることがあるが、当該理由によるキャンセルを、なるべく減らす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民のニーズや交通機関からの要望等を踏まえつつ、クルーズ船の寄港に向けて整備する。 ・気象情報等の収集について、クルーズ船会社との情報連携を検討する。
	今後の取り組み方針	
<p>・クルーズ船誘致のための環境基盤としてPRL、年間35万人程度のクルーズ船観光客誘客に繋げるため、引き続き、隣接埋立工事の進捗等を踏まえた上で、施設整備に取り組む。</p> <p>・気象条件による寄港キャンセルの減少させるため、関係機関との連携を図るとともに、寄港した際の雨天対策等についても検討し、クルーズ船寄港回数増の増に取り組む。</p>		



資金の流 れ 検 査 ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。</p> <p>○受益者との負担関係は妥当であるか。</p> <p>○費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。</p> <p>○事業目的に即して必要なものであり、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		石垣市					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑨	亜熱帯都市公園整備促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア	
担当部署名	建設部 都市建設課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり Ⅲ-1-(1)	
事業内容	市民や観光客等の利便性の確保を図るため、石垣市特有の街区公園の整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	27年度	27年度(繰越)	H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	
		(a)当初予算額	78,000	-	66,500	4,500	-
	(b)予算現額	78,000	-	50,000	4,500	-	
	(c)増減額(b-a)	0	-	▲16,500	0	-	
	(d)繰越額	-	77,714	-	-	4,500	
	A.計(b+d)	78,000	77,714	50,000	4,500	4,500	
	B.執行済額	286	72,296	41,176	0	4,047	
	うち交付金充当額	228	57,838	32,941	0	3,238	
	次年度繰越額	77,714	-	0	4,500	-	
	執行率(%) (B/A)	0.4%	93.0%	82.4%	0.0%	89.9%	
予算の状況の説明	平成29年度における調査設計業務を行う段階において、設計内容及び周知地域住民との調整等が必要となり、計画期間の見直しの必要が生じたことから、事業の繰越を行った。繰越後は、繰越予算内で計画どおり事業を実施した。不用額453千円については、委託業務にかかる入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	あんぐん公園の調査設計業務の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	・調査設計業務に関し、設計内容及び周辺地域住民との協議・調整が必要となったため、計画期間を見直し、事業の繰越を行った。繰越後、設計内容等の調整を経て完了となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)
	あんぐん公園の調査設計業務の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【R2成果目標】 ・あんぐん公園利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を公園利用者を対象としたアンケートで検証	目標	()	()	()	()	(80%)
進捗状況説明	・あんぐん公園の調査設計業務の完了により、当公園の整備にかかる所要内容の把握、適切な公園整備に繋げることができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・あんぐん公園調査設計が完了したため、今後は整備工事及び建築設計業務(便益、管理、休憩施設)を進めていくうえで、地域関係者、関係機関の要望をもとに整備計画を立てる必要がある。</p>	<p>・地域関係者、関係機関とも綿密に情報交換を行い、公園利用者の利便性の向上を図り、地域の特色を生かした公園整備を進める。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・あんぐん公園は、地域の神事や祭事を執り行う公園でもあり、引き続き地域住民からの意見を把握し、計画的な工事の実施に取り組む。併せて、便益・管理・休憩施設の設計業務を行う。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	4,047	4,047	3,238	809	0
<pre> graph LR A[石垣市 4,047千円] --> B[委託料 4,047千円] B --> C[株式会社日誠プランニング 4,047千円] subgraph D [あんぐん公園調査設計業務委託] C end </pre>					

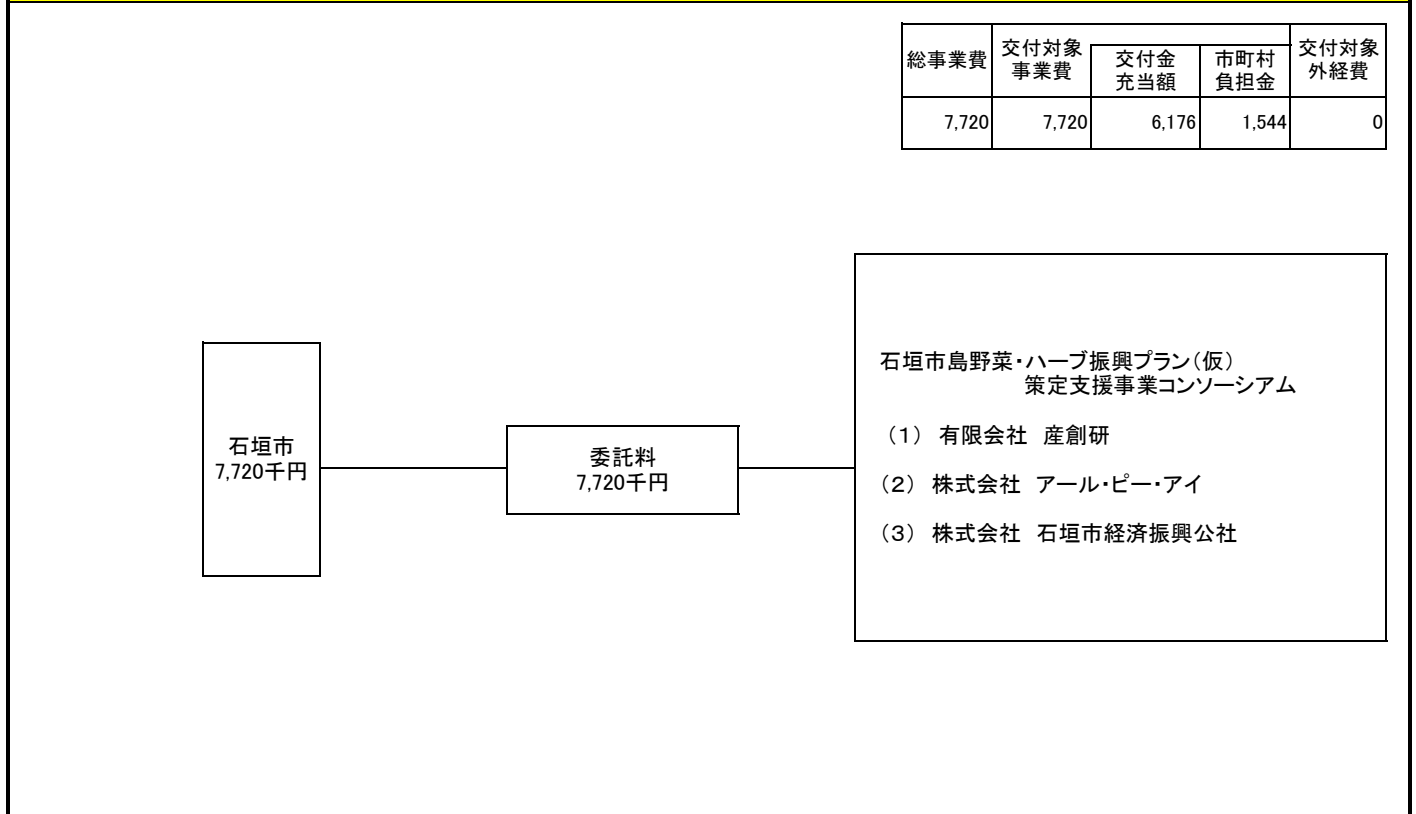
資金の 用途の 流れ 検証、 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は453千円であり、適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市						
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑧	島野菜・ハーブの生産、加工、販売推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア			
担当部課名	農林水産部 農政経済課	事業実施(予定)年度	平成28~29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	島由来の野菜やハーブの安定的な生産を推進し、新規加工商品の開発や販路拡大に向けた環境整備と体制の構築を目指すため、生産農家、流通業者、加工事業者等関係機関と協働し、方向性及び取り組み内容を盛り込んだ振興プランを策定する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		28年度	28年度(繰越)	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	9,662	—	7,722	—	
		(b)予算現額	9,504	—	7,722	—	
		(c)増減額(b-a)	▲158	—	0	—	
		(d)繰越額	—	9,504	—	7,722	
		A.計(b+d)	9,504	9,504	7,722	7,722	
	B.執行済額		0	9,504	0	7,720	
	うち交付金充当額		0	7,603	0	6,176	
	次年度繰越額		9,504	—	7,722	—	
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	
予算の状況の説明		石垣市島野菜・ハーブ振興プラン(仮称)策定協議会において出された検討材料の充実が必要との意見を踏まえ、開催スケジュールの見直しを行ったため、繰越事業となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	島野菜・ハーブの生産、加工、販売振興プラン策定業務委託の実施		目標 (実施)	()	()	()	
			実績	実施			
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		・石垣市島野菜・ハーブ振興プラン(仮称)策定協議会を4回、同ワーキング部会を4回開催した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R4年度)
	島野菜・ハーブの生産、加工、販売振興プランの策定完了		目標 ()	(完了)	()	()	()
			実績	完了			
	【R4成果目標】 野菜・ハーブの生産者戸数84戸		目標 ()	()	()	()	(84戸)
進捗状況説明		・本事業により、石垣市の島野菜・ハーブの農業の振興及び6次産業化の振興を図るために市内農業関係者が取り組むべきことの課題抽出・整理、取り組みの基本的な目標や視点、方向性、具体的な内容や方法等について整理することができた。 ・今後は、策定した本振興プランに基づいて、島野菜・ハーブを活用した農業振興を図るため、関係機関等と連携を図り、各施策の円滑な実施に取り組むこととする。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・推進主体となる生産農家、加工業者、飲食サービス事業者における一層の取り組みが求められる。 ・本振興プランの推進にあたり、必要な体制整備を構築する必要がある。 ・本振興プラン提起の重点項目に取り組む必要がある。 ・推進主体の現状及び取り組み状況等を適宜把握する必要がある。 ・販売促進プロモーションを展開していくにあたり、安定的、継続的な取り組みが求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『石垣市島野菜・ハーブ振興プラン』を生産者等へ普及する。 ・同プランの推進に必要な予算の確保や推進体制を構築する。 ・同プラン提起のリーディングプロジェクト10の周知を図るとともに支援策を検討する。 ・本振興プラン推進者の把握及び効果の数値化を行う。 ・関係機関との連携を強化する。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・本振興プラン策定後も、生産農家、流通業者、加工事業者、卸・販売業者、飲食サービス業者、アロマ・エステ等サービス業者、公的機関(給食センター等)等、多くの関係者に対し、石垣島の島野菜・ハーブを利活用による付加価値等、普及活動を継続していく。 ・推進主体の円滑に活動に取り組めるよう課題やニーズを把握し、公共政策にかかる支援策を調査、検討していく。 ・拠点産地形成・拡充、市民向け料理講習会、作目活用の新商品開発支援、戦略作目の検討等を行う。 ・生産農家等、関係機関における課題等を把握に取り組み、数値化し、振興プランの進捗具合を随時、比較できるようにする。 ・「(NPO)石垣市島やさい・ハーブ産業化推進機構(仮称)」の設置によりさらなる展開に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、 点 検 、 評 価 目 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○委託業務は、業務内容に応じて選定された事業者との随意契約であり、適切であったと考える。 ○不用額は事業費の0.1%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 石垣市

平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-⑨	林業活性化促進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア
担当部課名	農林水産部 農政経済課	事業実施(予定)年度	平成25~29年度	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	III-1-(6)

事業内容 島産材木の生産量の増加を図るため、八重山森林組合へ木材乾燥機を導入する。

効果発現年度 当年度 後年度(H30年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		H25年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	10,000	23,940	—		
	(b) 予算現額	9,450	23,940	—		
	(c) 増減額(b-a)	▲ 550	0	—		
	(d) 繰越額	—	—	23,940		
	A. 計(b+d)	9,450	23,940	23,940		
	B. 執行済額	8,505	0	23,940		
	うち交付金充当額	6,804	0	19,152		
	次年度繰越額	0	23,940	—		
	執行率(%) (B/A)	90.0%	0.0%	100.0%		
予算の状況の説明	民間事業が旺盛で、人手や資材などが非常に不足していたために、平成30年度へ繰越となった。					

活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)	達成状況			
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		木材乾燥機の購入	目標 (購入)	()	()
	実績	購入			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	平成29年度内での木材乾燥機購入及び設置完了の予定であったが、民間事業が旺盛で、人手や資材などが非常に不足していたために、木材乾燥機の設置についての手配に不測の日数を要し、平成30年6月に設置完了となった。				

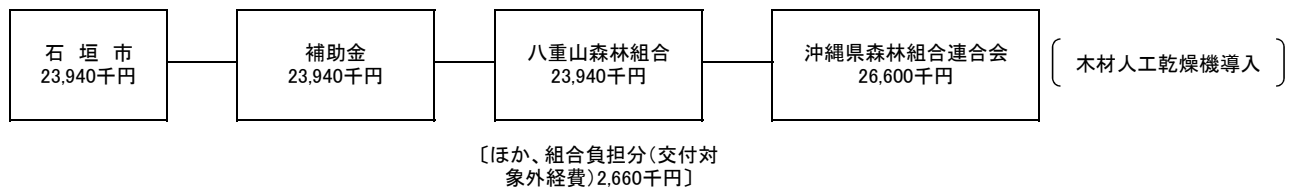
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
		木材乾燥機の設置完了	()	(設置完了)	()	()
		実績	設置完了			
	【H30成果目標】 島産材木生産量28㎡	目標	()	()	(28㎡)	()
		実績			24.96㎡	
進捗状況説明	平成29年度内の設置完了予定の遅れにより、平成30年6月からの共用開始となった。設備設置が完了したことから、島産材木の生産量28㎡を目標に林業活性化に取り組んだところ現状は24.96㎡にとどまり目標数値を下回った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 島産材木生産量を増加させるには、乾燥工程前に行う、製材過程での職人不足及び高齢化による技術の引き継ぎが必要である。 安定的な販路体制が整っていないため、販売ルートの確保が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 製材過程での人材育成、製材機の導入等を早急に検討し、工程作業サイクルの構築を図る。 県内外にある森林組合と地元建築企業との連携を行い、販路の確保に努める。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 製材に係る人材を育成するため、先進地へ職員を派遣し、技術取得を図る。 木造建築が見直されている中、ニーズに合わせた構造材の販路を確保するために、地元建築企業との連携や情報共有を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
26,600	23,940	19,152	4,788	2,660



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○支出先の選定について、補助については石垣市林業構造改善事業補助金交付要綱等に基づくものであり、妥当である。 ○予算規模については全額補助であり、適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	